

行事報告書(研修)

報告者：大地 祥子

行事名	甲山研修
実施日時	平成26年12月11日(木曜日) 10時～14時30分 雨のち曇り
場所	甲山森林公園内
テーマ	初冬の植物観察「果実と種子」
講師	児玉勝久講師
参加者数	30名
内容 (項目と概要)	<p>午前中は雨天の為室内で講義を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の樹「クリスマスツリー」</li> </ul> <p>クリスマスツリーに使われる樹木として、日本は「モミ」が多く、ヨーロッパでは「ヨーロッパトウヒ」が広く使われている。このように常緑の針葉樹が使われるのは、冬の間でも緑を保ち強い生命力の象徴とされ、その飾りとしては赤い実の「ヨーロッパヒイラギ」等を用いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「果実と種子」</li> </ul> <p>被子植物の種子は子房又はその付属体が成熟した果実の中に含まれる。裸子植物は果実を作ることはない。果実の区分はその特徴や成り立ちが多様なため、分類の仕方が複雑になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児玉講師や会員の方々が多くの果実や種子のサンプルを持ち寄り、皆で観察した。</li> </ul> <p>午後は雨も上がり野外観察に出る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察のコース 事務所～みどり橋～時計広場てまえ～みどり橋～事務所</li> <li>・主に観察した果実と種子</li> </ul> <p>蒴果(コバノミツバツツジ、ヤマノイモ等)、堅果(ハンノキ、アラカシ等)、豆果(ナツフジ、ニセアカシア等)、偽果(タチバナモドキ、ナワシログミ等)、核果(ホルトノキ、トウネズミモチ等)、液果(ナンテン、イイギリ等)、瘦果(センニンソウ)、袋果(テイカカズラ)等の果実とそれぞれの種子を詳しく観察した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今月のミニ講座は金澤千恵美さんによる「山筋ゴーゴー体操―生涯登山をめざして―」を午後の観察前に行った。</li> </ul> <p>&lt;資料&gt;今月の樹「クリスマスツリー」、果実と種子(改訂版)、樹木観察参考資料</p>
まとめ 感想	<p>幸い午後には雨もやみ、鳥の声を聴きながらゆっくりと果実と種子を観察し、植物が子孫を残すため巧みに工夫している様子に触れ驚かされた。</p>



ナンテン



ホルトノキ